【面接カード作成に当たっての留意事項】

様式中の年は全て西暦で入力する。

住所は省略せずに入力する。 日中連絡が取れる電話番号も必ず入力すること (携帯可)。

現在在学中の者は、卒業見込の時期まで の期間を入力する。

例:2023年4月に入学し、 2026年3月末に卒業見込の者 「2023・4~2026・3」

他の公務員試験や民間企業等の併願状況 について、該当する項目を選択し、〔〕 内には現在の状況を入力する。

既に不合格が判明している場合は入力不 要。

例:「国家一般職最終合格」、「〇〇市1次 結果待ち」など

口述試験(面接)を実施する上で試験員に伝えたいこと(例:難聴のため小さな声が聞き取りにくい。足のケガのため膝を曲げられないなど)があれば入力する。該当ない場合は空欄とせず、「なし」と入力する。

面接カード **」** □警察職員 ■小中学校職員 受験番号 (フリガナ) (来年4月1日現在満 (市区町村名まで) 現住所 住 以外の生 □大学院 □大 学 □短大・高専 □高 ____ 卒 業 · 修 了 □中 退 □ 在学中(学年) 最終学歴 修学区分 <来年3月末までの見込を含む> 在学期間 学部·学科·課程名 期 間 (年・月) 勤務先等の名称 所 在 地(市区町村名ま 職務等の内容 最終学歴後の □国家公務員〔 〕 □ 地 方 公 務 員〔 併願状況 □ 大学(院)進学等 □民間企業 □団体職員 □なし 得意科目 資格・免許 特記事項 望理由 あなたがこれ までに特に力 とその成果 公務員とし 働く心構え ※の入力欄は、文字の大きさ14ポイント程度、200字程度

様式中の「□」 欄は、該当する項目について、 リストから■を選択する(手書きの場合は、

■・☑・図のように記入する。)。

現住所以外の連絡先があれば、市区町村名まで入力する。

該当ない場合は空欄とせず、「なし」と入力する。

2026年4月時点で在学中の場合は「在学中」を選択し、その時点の学年を入力する。

職歴がある場合に入力する(6か月未満の もの 又は 学生時代のアルバイトは入力不 要)。

現在無職(在学中を除く。)の場合は、「現在」 欄は無職と入力する。無職となる前に職歴 がある場合は、「その前」欄に入力する。

専門学校(予備校を含む。)に通学している 場合、「職務等の内容」 欄は「通学(コース 名)」と入力する。

学校名を容易に連想させるような記述は避けること。

例:早慶戦、○○校祭